

(1) 岐阜県岐阜圏域

岐阜保健所における地域・職域等連携推進事業のあゆみ

平成14年度～16年度

<目的>：ヘルスプランぎふ21を推進するため、

- ・岐阜地域の健康課題を中心に、効果的・効率的な活動を普及啓発する。
- ・地域の保健医療資源の有効活用を図り、地域全体の自主的な健康づくり活動を支援する。

	調査等	事業
平成14年度	・50人以上の事業所の健康づくり事業現状調査	・「健康づくり事業推進」シンポジウムの開催
平成15年度	・事業所における健康づくり事業の実態調査と支援希望調査(50人以上) ・「ヘルスプランぎふ21」協力団体の健康づくり事業における支援可能調査 ・特色ある健康づくり実施事業所の資料作成調査 ・健康増進施設調査 ・地域(事業所)における分煙推進状況調査 ・室内の粉塵量測定	・支援希望事業所に対する講師派遣事業 ・健康増進施設マップ作成 ・ヘルスプランぎふ21圏域推進会議にて報告
平成16年度	・小規模事業所における健康づくり事業の実態調査と支援希望調査(50人以下)	・支援希望事業所に対する講師派遣事業 ・健康づくりに関する関係機関・団体の役割確認(圏域推進会議の中での確認) ・各務原市市民の健康意識調査及び健診受診促進支援 ・ヘルスプランぎふ21圏域推進会議にて報告

<課題>

- 職域保健
- ・従業員数が少ない事業所は受診率が低く、市町の基本健診を利用していることがある
 - ・有所見者への事後指導が消極的であったり、事後指導結果が把握されていない。
 - ・保健指導、教育等の出前講座の利用を呼びかけても応募が少ない。
 - ・健診、事後指導、健康教育を各保険別の機関・団体が重複して実施
 - ・従業員へのメンタルの対応方法についての指導を希望している
- 地域保健
- ・事業所を退職すると地域の健診を受ける人が少ない。
 - ・主婦層の健診率が低い(受診機会の少なさと健康と感じている)
 - ・運動を習慣的に行っているのは中高年女性が多く、若い人や男性に少ない。

平成17年度

健康づくり推進検討会を立ち上げ、連携課題を抽出

- ① 職域から地域へ：退職者の継続的な健康管理指導
- ② 地域から職域へ：労働者の被扶養者(主に主婦層)の健康診断の受診促進
- ③ 地域と職域の共通課題：若年からの生活習慣病の予防対策

課題に対応する事業の具体化

- ① 退職者向け健康診断促進パンフレットの作成(岐阜保健所のホームページ)
- ② 事業所従業員(特に若年層)の健康管理システムの検討(実施断念)

平成18年度

<地域・職域連携事業の位置づけの再確認>

- ・岐阜保健所の場合の地域・職域保健連携推進部会として「ヘルスプランぎふ21圏域推進会議」の専門部会として位置づける。
- ・医療制度改革により、健診・事後指導が保険者に義務づけられることより、今後はたばこ対策・メンタル保健等ポピュレーションアプローチ部分での事業を推進することを目指している。